



UNITED NATIONS  
UNIVERSITY

2008年2月29日  
MR/J06/08

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811  
Fax: 03-3499-2828  
E-mail: media@unu.edu  
Website: http://www.unu.edu/

## 国際女性の日 2008 国連機関共催公開フォーラムのご案内

イベント： 国際女性の日 2008 公開フォーラム  
テーマ： 「女性と女兒に投資すること」  
日時： 2008年3月10日（月） 午後2時～午後7時  
場所： ウ・タント国際会議場（渋谷区、国連大学本部ビル3階）

### 背景：

- 国連は、男女平等の原則の確立に寄与し、世界の女性の地位向上をめざした戦略、プログラム、及び、基準を築いてきた。
- 国連では1975年より3月8日を「国際女性の日」と定め、女性たちが、平等、安全や開発、組織への参加のための努力により、どこまで可能性を広げてきたかを確認すると同時に、今後のさらなる前進に向けて話し合う場として設けられた記念日としてきた。
- 世界では、グローバル規模で起きている貧困による負担の多くを、女性が抱えている。10億人の人々が一日1ドル以下の生活を強いられており、そのほとんどは、女性や女兒である。女性は、世界中で消費される食物の半分を生産すると言われるが、女性が所有している農地は全体の1%に過ぎない。女性や女兒による教育、経済、そして政治への参加の可能性に投資することは、保健や経済面で健全な家庭を築く事ができるだけでなく、コミュニティーや国に大きな利益を生み、女性や女兒への投資は生産、持続可能な経済成長、そして健全な社会経済とローカルレベルでの文化や政治の活性化に欠かすことはできない。

### イベント詳細：

- オープニング
  - ・ 潘基文国連事務総長（ビデオメッセージ）
  - ・ コンラッドオスターヴァルダール国連大学学長、国連事務次長（開会挨拶）
  - ・ 森山眞弓衆議院議員（開会挨拶）
- 基調講演：
  - ・ アイシャトゥ・ディアワラ・フランベア 国際連合児童基金（ユニセフ）レソト事務所長
  - ・ 勝間和代 経済評論家（兼公認会計士）
- パネルディスカッション：
  - ・ エミール・ルワマシラボ 駐日ルワンダ大使
  - ・ 橋本京子 多摩美術大学 生産デザイン学科テキスタイル研究室教授
  - ・ 若杉なおみ 早稲田大学大学院政治学研究所 教授
  - ・ 斉藤万里子 国連開発計画（UNDP）日本-UNDP WID 基金担当官
- 日英の同時通訳あり。
- 当日のシンポジウムは下記ウェブキャスト（ライブ及び録画）でも閲覧可能。  
<http://c3.unu.edu/unuvideo/>
- シンポジウムのプログラム詳細は<http://www.unu.edu/iwd/>まで。

取材ご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。

国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-3499-1311 e-mail: media@unu.edu）



**共催：** 国連食糧農業機関(FAO)、国際労働機関(ILO)、国際通貨基金(IMF)、国連人道問題調整事務所(OCHA)、国連開発計画(UNDP)、国連環境計画(UNEP)、国連人口基金(UNFPA)、国連ハビタット(国連人間居住計画:UN-HABITAT)、国連難民高等弁務官事務所(UHCR)、国連広報センター(UNIC)、国連児童基金(UNICEF)、国連工業開発機関(UNIDO)、国連プロジェクト・サービス機関(UNOPS)、国連大学(UNU)、国連ボランティア計画(UNV)、WFP国連世界食糧計画(WFP)、世界銀行(World Bank)